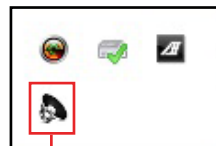


# Realtek® オーディオマネージャユーザーガイド

Realtek® オーディオコーデックは8チャンネルオーディオをサポートしています。またソフトウェアにより、ジャック検出機能、S/PDIF出力サポート、割り込み機能に対応しています。このコーデックはRealtek® 開発の UAJ® (Universal Audio Jack) テクノロジーを採用しており、全てのオーディオポートでこのテクノロジーをサポートしていますので、ケーブル接続エラーを未然に防ぎ、プラグアンドプレイ対応で簡単に機器を接続することができます。

本機能を使用するには、マザーボードに付属のサポートCD/DVDからRealtek® オーディオドライバをインストールする必要があります。

Realtek® オーディオソフトウェアがインストールされると、タスクトレイに Realtek® HD オーディオマネージャのアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、Realtek® HD オーディオマネージャが起動します。



Realtek® HD オーディオマネージャ

## Realtek® HD オーディオマネージャ : Windows® 8 / 7 / Vista

デバイス一覧 (表示されるアイコンは接続されたオーディオデバイスにより異なります)



上記のインターフェースは、特定のマザーボードでのみ表示されます。

## デバイス一覧

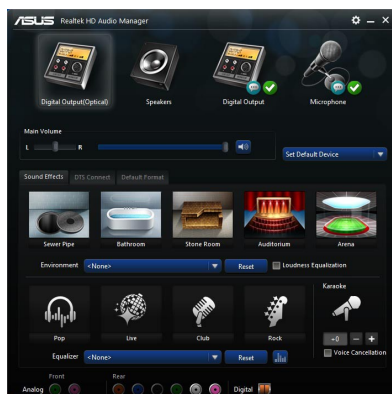
デバイス一覧の中から設定を変更したい項目のアイコンをクリックし、各種オーディオ設定を行います。



本マニュアルで使用されているイラストや画面、項目名は実際のものとは異なる場合があります。これらは使用するOSやソフトウェアバージョンにより異なります。予めご了承ください。

## デジタル出力設定

1. 「**Digital Output**」アイコンをクリックします。
2. 「**デフォルトを設定する**」ボタンをクリックし、デジタル出力ポートを既定のデバイスに設定します。
3. 「**サウンドエフェクト**」タブをクリックし、各種音響効果を設定します。



4. 「**DTS Connect**」タブをクリックし、DTS Connect の動作モードを設定します。



DTS Connect の設定を行うには、「**デフォルトフォーマット**」タブでデフォルトフォーマットを「**DTS Interactive (5.1 Surround)**」に設定する必要があります。



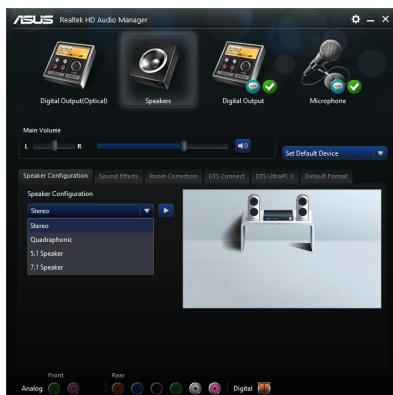
- デフォルトフォーマットを「**DTS Interactive (5.1 Surround)**」に設定することで、DTS Connect「ミュージックモード」の「**センター・ウィズス (幅)・コントロール**」を調節することができます。
- DTS Connect の仕様により、「**ムービーモード**」の「**センター・ウィズス (幅)・コントロール**」を調節することはできません。
- DTS Connect は特定モデルでのみご利用いただけます。

5. 「**デフォルトフォーマット**」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。

## スピーカー

### スピーカー設定

1. 「**Speakers**」アイコンをクリックします。
2. 「**デフォルトを設定する**」ボタンをクリックし、アナログ出力ポートを既定のデバイスに設定します。
3. 「**スピーカー設定**」タブをクリックし、接続されたスピーカーの構成に合わせてチャンネル数を設定します。各チャンネルのテストを行うことも可能です。
4. 「**サウンドエフェクト**」タブをクリックし、各種音響効果を設定します。



5. 「**室内音響補正**」タブをクリックし、スピーカーの距離を個別に調節します。



室内音響補正は5.1/7.1 スピーカーモードでのみ作動します。

6. 「**DTS Connect**」タブでは、4 / 5.1 / 7.1 チャンネルのスピーカをご利用の場合のDTS Connect の有効/無効、および動作モードを設定します。有効にするには「**オン**」をクリックします。



- DTS Connector は4 / 5.1 / 7.1 スピーカーモードでのみ作動します。
- DTS Connect の仕様により、「**ムービーモード**」の「**センター・ウィズス（幅）・コントロール**」を調節することはできません。
- DTS Connect は特定モデルでのみご利用いただけます。

7. 「**DTS UltraPC II**」タブでは、2チャンネルステレオスピーカーをご利用の場合のDTS UltraPC II の有効/無効、および動作モードを設定します。DTS Surround Sensation、DTS Enhance、DTS Symmetry 各機能の調整を行うことが可能です。



- DTS UltraPC IIIはステレオモード (2チャンネルスピーカー)でのみ作動します。
- 4 / 5.1 / 7.1 チャンネルのスピーカをご利用の場合は「**DTS Connect**」をご利用ください。
- DTS UltraPC II は特定モデルでのみご利用いただけます。

8. 音響効果設定を既定値に戻すには、「**リセット**」をクリックします。

## ライン入力

### アナログライン入力設定

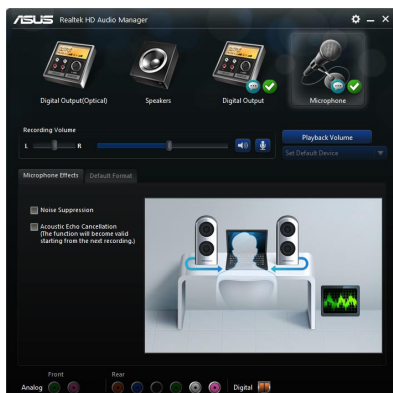
1. 「LineIn」アイコンをクリックします。
2. 「デフォルトを設定する」ボタンをクリックし、アナログライン入力ポートを既定のデバイスに設定します。
3. 録音ボリュームのスライダーを動かし、入力音量と左右バランスを調整します。再生音量を調整するには「再生ボリューム」ボタンをクリックします。
4. 「デフォルトフォーマット」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。



## マイク

### マイク設定

1. 「Microphone」アイコンをクリックします。
2. 「デフォルトを設定する」ボタンをクリックし、マイク入力ポートをデフォルトデバイスに設定します。
3. 録音ボリュームのスライダーを動かし、入力音量と左右バランスを調整します。
4. マイク入力音量を増幅するためのマイクブーストを設定する場合は、をクリックし、スライダーで増幅量を調整します。
5. をクリックすると、ミュート状態となりマイク入力は無効になります。
6. 再生音量を調整するには、「再生ボリューム」ボタンをクリックします。
7. 「マイク効果」タブをクリックし、ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、参照モードなどの効果を設定します。




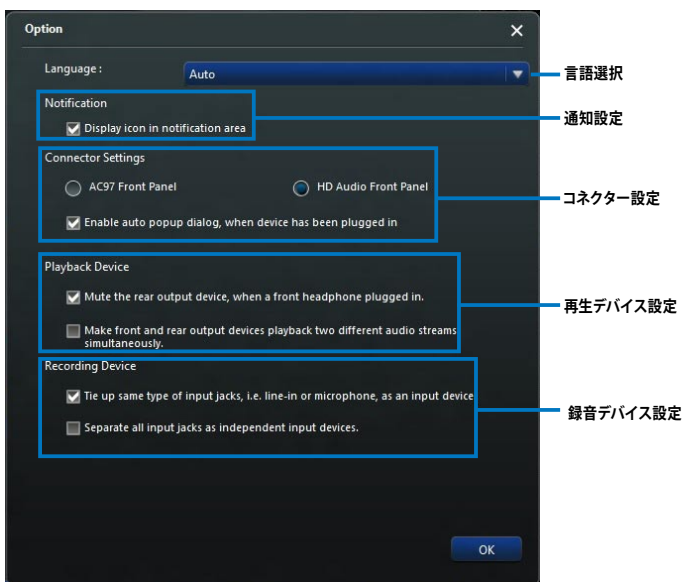
参照モードは特定モデルでのみご利用いただけます。

8. 「デフォルトフォーマット」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。

## デバイス詳細設定

デバイス詳細設定では再生と録音デバイスに関する設定を行うことができます。

画面右上にある  をクリックし「オプション」を選択します。




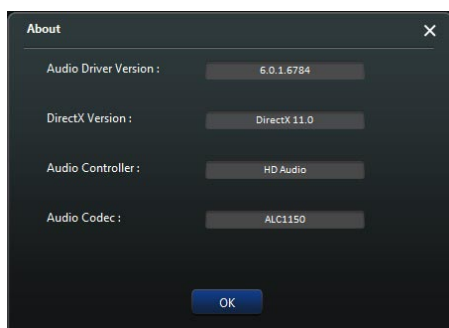
ジャック検出機能とフロントパネルジャックリタスキング機能はHDオーディオモードでのみ機能します。

HDオーディオモードの設定方法:


- コネクター設定で「**HD Audio Front Panel mode**」を選択します。
- UEFI BIOS Utility を起動し「**Advanced mode**」→「**Advanced**」→「**Onboard Device Configuration**」→「**Front Panel Type**」を[HD]に設定します。

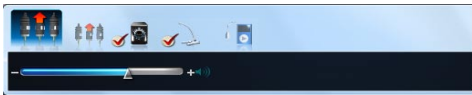
## 情報


画面右上にあるをクリックし「情報」を選択します。オーディオドライバーのバージョン、DirectXのバージョン、オーディオコントローラー、オーディオコーデック等の情報が表示されます。



## Realtek® HD オーディオマネージャ : Windows® 8 / 7 / Vista

タスクトレイの  アイコンをシングルクリックすることでメインボリューム調整バーを表示させ、メインボリュームを素早く調整することができます。



タスクトレイの  アイコンをダブルクリックすると、Realtek HD オーディオマネージャが表示されます。





## デバイス一覧

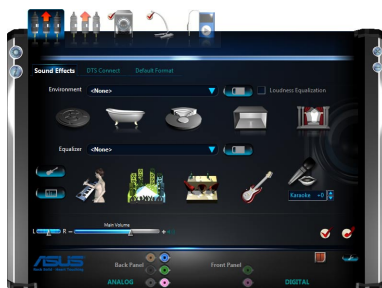
デバイス一覧の中から設定を変更したい項目のアイコンをクリックし、各種オーディオ設定を行います。



本マニュアルで使用されているイラストや画面、項目名は実際のものとは異なる場合があります。これらは使用するOSやソフトウェアバージョンにより異なります。予めご了承ください。

## デジタル出力設定

1. 「**Digital Output**」アイコンをクリックします。
2. 画面右下の  をクリックし、デジタル出力ポートを既定のデバイスに設定します。  
 をクリックすると、既定の通信デバイスとして設定することが可能です。
3. 「**サウンドエフェクト**」タブをクリックし、各種音響効果を設定します。



4. 「**DTS Connect**」タブをクリックし、DTS Connect の動作モードを設定します。



DTS Connect の設定を行うには、「**デフォルトフォーマット**」タブでデフォルトフォーマットを「**DTS Interactive (5.1 Surround)**」に設定する必要があります。





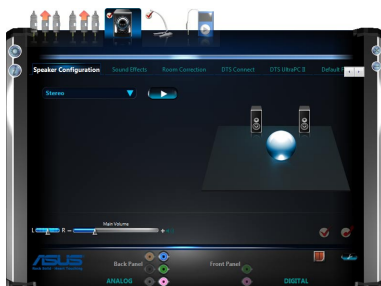
- デフォルトフォーマットを「**DTS Interactive (5.1 Surround)**」に設定することで、DTS Connect「**ミュージックモード**」の「**センター・ウィズス (幅)・コントロール**」を調節することができます。
- DTS Connect の仕様により、「**ムービーモード**」の「**センター・ウィズス (幅)・コントロール**」を調節することはできません。
- DTS Connect は特定モデルでのみご利用いただけます。

5. 「**デフォルトフォーマット**」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。

## スピーカー

### スピーカー設定

1. 「スピーカー」アイコンをクリックします。
2. 画面右下の  をクリックし、アナログ出力ポートを既定のデバイスに設定します。  
 をクリックすると、既定の通信デバイスとして設定することが可能です。
3. 「スピーカー設定」タブをクリックし、接続されたスピーカーの構成に合わせてチャンネル数を設定します。各チャンネルのテストを行うことも可能です。
4. 「サウンドエフェクト」タブをクリックし、各種音響効果を設定します。
5. 「室内音響補正」タブをクリックし、スピーカーの距離を個別に調節します。



室内音響補正は5.1/7.1 スピーカーモードでのみ作動します。

6. 「DTS Connect」タブでは、4 / 5.1 / 7.1 チャンネルのスピーカをご利用の場合のDTS Connectの有効/無効、および動作モードを設定します。有効にするには「オン」をクリックします。



- DTS Connector は4 / 5.1 / 7.1 スピーカーモードでのみ作動します。
- DTS Connect の仕様により、「ムービーモード」の「センター・ウィズス（幅）・コントロール」を調節することはできません。
- DTS Connect は特定モデルでのみご利用いただけます。

7. 「DTS UltraPC II」タブでは、2チャンネルステレオスピーカーをご利用の場合のDTS UltraPC IIの有効/無効、および動作モードを設定します。DTS Surround Sensation、DTS Enhance、DTS Symmetry 各機能の調整を行うことが可能です。




- DTS UltraPC IIIはステレオモード (2チャンネルスピーカー)でのみ作動します。
- 4 / 5.1 / 7.1 チャンネルのスピーカをご利用の場合は「DTS Connect」をご利用ください。
- DTS UltraPC II は特定モデルでのみご利用いただけます。

8. 「デフォルトフォーマット」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。

## ライン入力


### アナログライン入力設定

1. 「**ライン入力**」アイコンをクリックします。
2. 画面右下の  をクリックし、アナログライン入力ポートを既定のデバイスに設定します。
3. 「**デフォルトフォーマット**」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。
4. 録音ボリュームと再生ボリュームのスライダーを動かし、入出力音量と左右バランスを調整します。



## マイク

### マイク設定


1. 「**マイク**」アイコンをクリックします。
2.  をクリックしマイクポートを既定のデバイスに設定します。
3. 「**マイク効果**」タブをクリックし、ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、参照モードなどの効果を設定します。

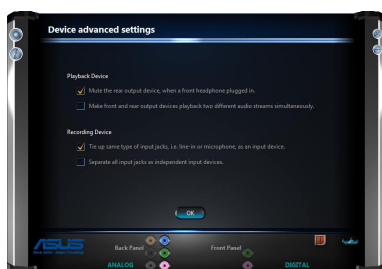


参照モードは特定モデルでのみご利用いただけます。


8. 「**デフォルトフォーマット**」タブをクリックし、サンプリングレートとビット数を選択します。

## デバイス詳細設定

録音デバイスに関する設定を行うには  をクリックします。

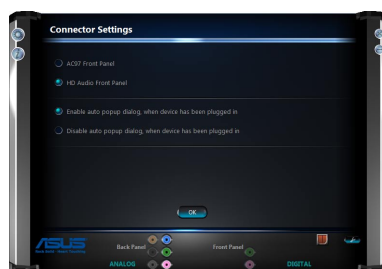


## コネクタ設定


フロントパネルオーディオコネクタの動作モードやデバイス接続時のポップアップダイアログの有効/無効を設定するには  をクリックします。

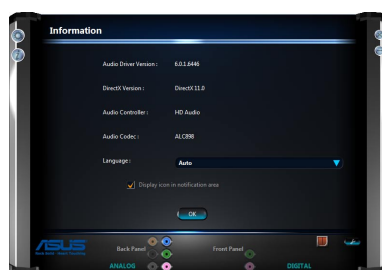


ジャック検出機能とフロントパネルジャックリタスキング機能はHDオーディオモードでのみ機能します。これらの機能を使用する場合は、Realtek® HD オーディオマネージャとUEFI BIOS Utility のフロントパネルタイプを[HD]に設定する必要があります。



## 情報

情報画面を表示するには  をクリックします。情報画面にはオーディオドライバーのバージョン、DirectXのバージョン、オーディオコントローラー、オーディオコーデック等が表示されます。



# Realtek® HD オーディオマネージャ : Windows® XP



## 設定オプションタブ

設定する項目のタブをクリックし、各種オーディオ設定を行います。

## サウンドエフェクト

### サウンドイフェクト設定

1. 「サウンドエフェクト」タブをクリックします。
2. ショートカットボタンやドロップダウンリストで環境を設定するか、イコライザーを調節することによって各種音響効果を設定します。



手でイコライザーを調節するにはスライダーを移動してください。

3. 「OK」をクリックし、設定を有効にします。




## ミキサー

### ミキサー設定

1. 「ミキサー」タブをクリックします。
2. ダイヤルまたはスライダーを移動して、再生と録音の音量とバランスを調整します。




録音デバイスを無効にする場合は、録音デバイスの全てのチャンネルをミュート  に設定してください。



3. 各項目のスライダーを動かし、音量とバランスを調整します。





他のメニューオプションを表示するには  をクリックします。

4. 「OK」をクリックし、設定を有効にします。

## オーディオI/O

### オーディオI/Oオプション設定


1. 「オーディオI/O」タブをクリックします。
2. ドロップダウンリストからご利用中のサウンドデバイスやスピーカーチャンネルを選択します。
3. 設定パネルに接続されているデバイスが表示されます。アナログパネルの  をクリックすると、コネクタ設定が表示されます。フロントパネルのジャック検出機能やデバイス接続時のポップアップダイアログの有効/無効を設定することができます。デジタルパネルの  をクリックすると、出力サンプルレートや出力ソースを設定することができます。
4. 「OK」をクリックし、設定を有効にします。

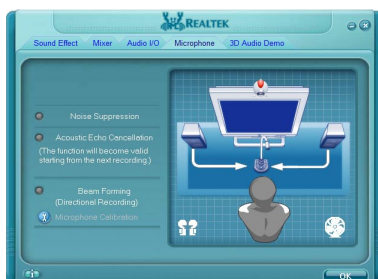


ジャック検出機能とフロントパネルジャックリタスキング機能はHDオーディオモードでのみ機能します。これらの機能を使用する場合は、Realtek® HD オーディオマネージャとUEFI BIOS Utilityのフロントパネルタイプを[HD]に設定する必要があります。

## マイク


### マイク設定

1. 「マイク」タブをクリックします。
2. 「ノイズ抑制」を有効にすることで、録音の際のノイズを抑制することができます。
3. 「音響エコーキャンセル」を有効にすることで、録音の際のフロントスピーカーから発生するエコーを抑制することができます。
4. 「ビームフォーミング (指向性録音)」を有効にすることで、録音時の、周囲のノイズを軽減します。マイクのキャリブレーションを行うには  をクリックします。
5. 「OK」をクリックし、設定を有効にします。




## 3Dオーディオデモ

### 3Dオーディオデモ開始

1. 「3Dオーディオデモ」タブをクリックします。
2. サウンド、ムービングパス、環境を選択しデモ環境を設定します。
3.  をクリックし設定をテストします。
4. 「OK」をクリックし、設定を有効にします。



## 情報

情報画面を表示するには  をクリックします。情報画面にはオーディオドライバーのバージョン、DirectXのバージョン、オーディオコントローラー、オーディオコーデック等が表示されます。また、表示言語やシステムトレイの表示を設定することができます。

